

S

ing

平成27年1月1日発行 第58号(毎月1日発行)

静岡商工会議所報 [シング]



2015 JANUARY



2015年

家康公

四百年

祭

専門サーブिस部会特集

女子力で新たな価値創造を!

あけまして
おめでとうございます

天変地異と吉宗公

通行量調査結果(速報)

平成27年 新年名刺交換

商工会議所会館の活用

事業の法人化への手続

東京からこんにちは 岡部政之さん

味な店 手打ちそば くら麦

(南辻村和裁研究所・根元美佳さん)

女子力で新たな価値創造を！

静岡商工会議所・専門サービス部会(部会長・鈴木剛、部会員・1212社)では平成26年11月4日、静岡商工会議所・静岡事務所会館4Fで、静岡市で活躍する女性経営者をパネリストに招き、第4回女性経営者によるトークセッション「女子力で新たな価値創造を！」を開催しました。

会場には、起業をめざす女性など50名が集まり、トークセッション終了後にはパネリストとのビジネス交流会が行われました。その内容の一部をご紹介します。(文責企画広報室)



出席者(写真順)

司会
 専門サービス部会 副部会長
 地域活性化戦略研究所 所長
花井 孝 さん

フジ物産(株) 代表取締役社長
山崎伊佐子 さん

(株)emriki 代表取締役
四條由貴 さん

しずおか未来エネルギー(株)
 代表取締役社長
服部乃利子 さん

女性が経営する出版社、エネルギー会社、商社が登場

花井 女性の力なくしては始まらない時代が到来ということで、専門サービス



専門サービス部会 副部会長
 地域活性化戦略研究所 所長
花井 孝 さん

女性が元気でがんばってくださると、静岡はきっと変化します。

部会では4年前から女性経営者によるトークセッションを開催しています。女性としての、経営視点をヒントとして受けとめて、新たなマーケットに挑戦し、元気になれるようなお話の展開になっていけばと願っています。最初に、自己紹介をお願いします。

四條 「百花壇」という年齢層の高い女性向けフリーマガジンを発行しています。いままでいろいろな書籍や印刷物を作ってきたメンバーたちが、落ち着いてゆつくりと読めるものを発信していこうというコンセプトで始めました。少ないスタッフで2カ月に1度、発行しています。

服部 事務所は静岡県地球温暖化防止活動推進センターの中にあります。地域のエネルギーを地域のみならずで

百花壇
 (株)emriki

- 代表取締役/四條由貴
- 創立/2013年
- 資本金/100万円
- 静岡市葵区西草深町21-6
- TEL054-209-0731

http://hyakkadan.jp

(株)emriki 代表取締役
四條由貴 さん

作るメンバーが年を重ねるのだから情報誌も年を重ねていいのでは。

出版物・印刷物を制作しているクリエイター集団です。主な制作物として、静岡県中部エリアを中心に、静岡県内各地、山梨県南部に配布する大人向けフリーマガジン「百花壇」を毎月(奇数月)発行しています。

「たまには自分のため、特別なモノが欲しい」「ゆつくり友人と語らえるお店が知りたい」「気長に通えるエステを探している」といった「いつでも楽しく、生活に潤いを感じたい」と願う大人のために、価値ある情報を提供することがコンセプトです。

1-2月号は、「家康公御鎮座400年祭」の特集をはじめ、グルメ・ドライブ・美容などを紹介しています。



四條 私はフリーライターをしています。10年前、若いOLさん向けの情報はかなり充実していて、私もまだその頃は若かったのですが、そこに違和感は無かったです。10年もその場所にいると、年を取った自分が10年先、20年先も若い子向けの情報を発信できるのかなと疑問に思うようになりました。カメランやデザイナーにも同じことを考えているメンバーがいて、作るメンバーが年を重ねていくのだから、情報誌も年を重ねていくのではないかと、フリーペーパーでもおしゃれな生活を伝えるものがあってもいいのではないかと考えて、1年前に法人化しました。

いろいろなお店の方の話を聞くと「いまは元気なシニア世代の方も多く、必ずしもビジネスは若い子むけばかりではないよ」とよく耳にします。大人の親子がゆつくりとおでかけできる場所や、おとうさん、おかあさんがリタイアされてから旅行に行かれる場所などを発信していくのも、ひとつのビジネスの方向ではないかと感じています。

服部 私は静岡県地球温暖化防止活

動推進センターのゼネラルマネージャーとして温暖化対策と再生可能エネルギーの普及に取り組んできました。大震災前は、エネルギーや電気は、誰かがどこか遠くで作ってくれるもの、パチッとやれば電気がつくというイメージでした。それが3・11で一変しました。いままで私たちはエネルギーを使う側でしたが、作る側に参加していくことが大事なのではないか。そして改めて、私たちが電気を使うことはどういうことか、考えなければ、と思いました。

そこで、市民の皆様が参加できる仕組みを作れないかと、資金調達の仕組みに市民ファンドを採り入れた太陽光発電所を静岡市有施設の屋根や土地に作りました。日本平動物園、番町市民活動センター、西ヶ谷資源循環体験プラザ、IAIスタジアム日本平のカーポート、清水桜が丘高等学校の体育館の5施設。いずれも多くの市民の皆様に見ていただけるような場所です。

山崎 二人の兄がフジ物産で働いておりましたので、末娘の私は会社とは縁のない立場でした。ただ、私は親不孝な娘で離婚をしましたので、それを機に会社に勤務するようになりました。自立するために、死ぬ想いで勉強して中小企業診断士の資格を取りました。特にコーチング、ファシリテーションというコミュニケーションスキルを使って組織を活性化する分野で独立しようと思っていました。ただ取得後5年間は、この

をコンセプトに、再生可能エネルギー事業に取り組んでいます。静岡市役所の屋根や土地をお借りして、市民の皆様から市民ファンドという形でご参加いただき、5カ所で230kwの小きな発電所を設置しました。NPO法人と鈴木商事さんとの2者で株式会社を立ち上げ、運営管理しています。

山崎 本社は清水区にありますが、県内外や海外に10カ所の拠点がありません。事業内容は多岐にわたっていますが、皆様の目に触れるところでは、ガソリンスタンドを清水でやっていたり、冷凍の水産食品、エビカニアワビなどを県内のレストラン、ホテル、結婚式場に卸していますので、皆様にもお召し上がりいただいているかもしれません。父が1957年に創業した会社で、正社員が87名、パートアルバイトさんを入れて約130名です。

仕事の中での疑問や危機体験から、新しい事業が生まれる

花井 それではまず、現在のビジネスに参加しようと決断された動機について、お尋ねしたいのですが。

資格で会社に何らかの貢献をし、フジ物産に恩返しをしようと思っていました。しかし取得後3年目に高知県の会社で不祥事がおきて、辞任した父の後を継ぎ、2年で会社を再生することができました。その後、「フジ物産の社長を」という話があり、社員の方たちが「フジ物産に入って良かった」と思ってもらいたいという一念で、社長を引き受けることにしました。二人の兄には専務として両脇を支えてもらい、現在8年目になります。

社員ひとりひとりが、十分に話しあうことが必要

花井 実際に経営に参加して、ご自分のイメージ通りでしたか? それとも、こんなはずでは、と愕然とすることがありましたか?

山崎 10年勤務した会社で、問題が何かは分かっていたものですから、数か月かけて、社員ひとりひとりと1対1でヒアリングの時間をつくって、不満や要望、いま抱えている課題を聴きました。即解決できることは即解決し、時間をいただくことは時間を制限して解決に向かいました。経営者と従業員の想いのギャップを少しでも埋めるべく、ヒアリングは今でも続けていて、各部長にも部員の声を聴くようにお願いしています。

弊社の場合は、計数管理を身につけた者があまりいなかったため、部署別の



私たちは多岐にわたる様々な事業をしています。私が人生最高の幸せと思う共通の価値観があります。

常に期待を超えるご満足をお客様に感じています。これからの努力を続けてまいります。

フジ物産(株)

代表取締役社長 山崎伊佐子
 創立 1957年
 資本金 5000万円
 静岡県清水区大坪2-5-32
 TEL 054-349-7007

http://www.fuji-bussan.com

私たちが会社は、石油燃料の販売からスタートし、現在では環境エネルギー部、食料事業部、遠洋マグロ船を支援する海上部、活鰻事業部、トータルケア部、太陽光発電、不動産部の6事業部門をもつ企業となりました。創業以来現在まで、全社員がチャレンジ精神をもって日々仕事を楽しみ、まい進しています。

「ネガティブ発言はしない」「できない理由は探さない」「どうやったらできるかを意見交換する」。その中で私が気に入っているのは、清水IC近くのガソリンスタンドのガイドラインのひとつである「会議の度に部長が缶コーヒーをこちそうする」です。

女性の強みかどうか分かりませんが、これまでの男社会では当たり前だった会議から、本質を突いた良い会議になったと思います。

今後の事業は、終活の情報誌、小水力発電所、ワインの輸入

花井 今後、こんな仕事をしてみたいという夢はありますか?

四條 計画進行中ですが、女性目線で見終活、自分や家族のエンディングに向かうための情報誌を発信していることと考えています。「自分だったら、こういうふうな葬式を迎えたいな」とか、結婚式やお葬式は、自分が主役になれて、自分の意思で決定できるので。私は、自分のお葬式には紅白の幕で「全うしたね。おめでとつ」と送ってほしいと思っ



フジ物産(株) 代表取締役社長 山崎伊佐子 さん
 私の経営理念は、社員に物・心ともに幸せになってもらうことです。

かかりますが、みんな前向きな発言をしてくれまますので、私が元気をもらっています。

四條 いままでお会いして話をうかがった社長さんの中には「こうはなりたくないな」と思う方もいらっしゃると思います。従業員が少ないほど、トップダウンになりやすい。また、ご自身は一所懸命に動いているのに、その頑張りやスタッフに伝わっていない。もし自分たちの会社ができたら、スタッフと良く話をすることが大事だなと、考えていました。

当社では、経営者とスタッフという垣根はあまりなく、チームという認識で活動しています。限られた人数のため、チームが効率よく動き、質の良いサービスをクライアントに提供するために「分担」と「共有」という事を意識します。各スタッフは、専門知識を持つクリエイターなので、自分の持ち場は自分で守ること、これが「分担」。また、クライアントの要望、各担当の状況などを把握し、補い合うことで、連携のとれた仕事が可能になります。情報、状況を「共有」することも、大切にしています。

花井 女性ならではの感性にもとづく企業の強みは、どのような部分だと思いますか?

四條 情報を扱う仕事なので、ネットワークを大事にしています。子育てを



が、南アフリカの美味しいワインを輸入する事業計画を作っているところで。私自身の経営理念は、従業員の方が物心ともに幸せになってもらうこと、よりの質の良い会社になりたいと思っています。

花井 時代は、ネット社会や、女性の感性・たくましさしたたかさがベースにある「女子力」の新しいコミュニティに、舞台が移りつつあります。女性が元気でがんばってくださるならば、静岡はきっと変化します。女性の努(女+又+力)力こそがカギだと思えます。もうひとつ、女性の皆様が喜んでくださると、みんなが嬉(女+へん+喜)しい社会ができると思っています。今日は、ありがとうございます。



しずおか 未来エネルギー(株)

代表取締役社長 服部乃利子
 創立 2012年
 資本金 7500万円
 静岡県葵区黒金町12-5丸伸ビル2F
 TEL 054-2600-4414

http://s-miraienergy.com

地域に根差した再生可能エネルギーの普及を目的に、それまで地球温暖化防止活動に取り組んでいたNPO法人アースライフネットワークと、給与商事務(株)の2者で当社を設立し、再生可能エネルギーによる発電事業を行っています。

再生可能エネルギーの導入普及、環境教育活動等を通じて、市民・自治体・企業・教育機関など地域を構成する一人ひとりが自ら主体となって、地域のエネルギーを地域で創ることを、地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。



しずおか未来エネルギー(株) 代表取締役社長 服部乃利子 さん
 地域のエネルギーは、地域のみならず、創る！を指しています。

損益のシステムを作りなおし、全員が数字を理解して、毎月、報告できるようにし、管理会計もかなり改革した結果、数字で語れる社員が増えてきました。今では管理会計上のいろいろな書類を自ら作るようになるまでになりました。

服部 当社は、それぞれのメンバーの役割分担をはっきりさせています。社長の私は、どちらかというと営業部長です。地域プロジェクトなので、いろいろな関係者とのマネジメントやコーディネーター、頭を下げてお願いに行く係です。数字に強い常務は、財務経理担当。ホームページやデザイン関係担当の役員もいます。

事業がブレないように、とにかくよく話をします。私たちの仕事は経済性と社会性のバランスが大切です。どんなところに再生可能エネルギーのポテンシャルがあつて、事業性がどのくらいあるかを調査し、メリット、デメリットは何か、徹底的に話をします。

新しい再生可能エネルギーの発電所を形にしていくまでには時間と費用が

「ネットワーク、生活感覚、本質を突くことが女性の強み」

花井 女性ならではの感性にもとづく企業の強みは、どのような部分だと思いますか?

四條 情報を扱う仕事なので、ネットワークを大事にしています。子育てを

しながら、地域のおかあさんと仲良くしているスタッフがいます。ママ友のネットワークはすごく、表面に出ないリアルな情報を持っていたり、今の世の中を集約する声が聞けたりします。ママ同士の何気ない会話の中からビジネスチャンスが生まれたり、企画が成立することは結構な確率であります。「〇〇さんに聞けば教えてくれるから、聞いてくるよ」「仕入れてきたよ」と声をかけてくれるので、ママのパワーはすごいなと実感しています。

服部 プロジェクトを考える時に、男性は採算性から入りますが、女性は生活感覚から入ります。特に今回のファンドは、お財布を握っている女性の目線で「5万円5年で償還」に設定しました。これなら参加していただける方がたくさんいるはずだと思います。

私がゼネラルマネージャーをしている静岡県地球温暖化防止活動推進センターは20名のスタッフがいて、男女比はほぼ半数。女性スタッフの発想と男性スタッフの発想、それぞれの強みを活かしてチームで仕事を担っていただき、お互いの特徴を補いあうようにしています。

山崎 私が社長になってから、毎朝、掃除を始めました。当社の裏の大坪公園の掃除も社員自ら始めてくれてます。それを見て、隣の静岡信用金庫さんも公園の掃除に参加してくれるようになりました。

コミュニケーション能力も、女性のほう